「あなたの弱みは何ですか？」

「あなたの弱みは何ですか？」。あなたの目の前に居る人事の思惑は知りませんが、この質問の本来の目的はあなたが「正直であるか？自分と言う人間をどこまで理解出来ているか？」と言う事を確認するための質問です。

そんな質問の目的を知った事で、「何でこんな質問聞くんや」と言う疑問が解消された所で、この質問は自分の過去を振り返り過去に感じたあなたの弱み、その弱みを過去から今になるまでどう克服しようと努力して来たか？と言う事を話すのが一つの手です。

例えば、私は昔からプレゼンが苦手で、プレゼン日の朝は緊張から来る吐き気によって、トイレに引きこもったり、プレゼンからバックれたりしてました。プレゼンの緊張は失敗する恐怖から来る自信不足で、なら自信が付くように練習をしまくろうと言う解決策に到達し、プレゼン前には１００回近くプレゼンの練習をし、万全の状態で迎えるようにした所、今でもまだ緊張はしたりしますが、以前よりは遥かにマシになりました。

と言う感じで、昔からある弱みに対して、どう克服しようと努力してきて、と言う事を話して、今もまだ克服しようと努力していますと言う現在進行形の弱みを言うのが良いでしょう。弱みが解消されたなら、もはや弱みではありませんから。

他にも大事なのは、治せる弱みを述べる事です。人見知りと言うのは、中々、治せないでしょうが、プレゼンスキルと言うのは改善の余地があるでしょうから。

後は、あなたが受けている役職とはあまり関係の無い弱みを言う事も大事でしょう。営業に応募しているのに、コミュニケーション能力が無い、人見知りと言ってしまうと、営業には向いていないと思われて、受かる可能性が低くなりますから。ですから、応募している役職には影響されない弱みを言うのが良いかもしれませんね。エンジニアなら人見知りと言ってもより受け入れられそうですし、と言うように。

と言う事で、治せる弱み、役職にはあまり悪影響を及ぼさない弱みを解決に向けてどう努力しているかと言うエピソードを踏まえて言うと良いでしょう。